

平成26年7月定例会教育委員会会議録

- 1 期 日 平成26年7月17日(木)
- 2 会 場 南別館3階 委員会室
- 3 開始時間 午後1時30分
- 4 終了時間 午後4時10分
- 5 出席者 小西委員長、島津委員、中原委員、黒木教育長
その他の出席者
児玉教育部長、杉元教育総務課長、久保田学校教育課長、月野生涯学習課長、新宮文化財課長、堀之藪学校給食課長、新甫図書館長、後藤美術館長、東教育総務課副課長、岡田教育総務課主幹
- 6 傍聴人 1名
- 7 会議録署名委員 中原委員、島津委員

8 開会

○小西委員長

それでは、ただいまより、7月の定例会教育委員会を開催します。台風8号接近により延期となっていました7月の定例会です。本日は、赤松委員が大学の講義の関係で欠席です。そして、傍聴の方が1名いらっしゃっています。

9 会議録署名委員の指名

本日の会議録の署名委員に、都城市教育委員会会議及び選挙等に関する規則第15条の規定により、島津委員、中原委員をお願いいたします。

10 教育長あいさつ

○小西委員長

教育長にご挨拶をいただきます。

○教育長

教育長報告は次回にさせていただきます。梅雨が明けて、暑くなってきましたが、本日は、議題がたくさんございますので、スムーズな進行にご協力をお願いします。

○小西委員長

ありがとうございました。

11 議事

○小西委員長

それでは、議事に入ります。本日は、報告18件、議案9件です。報告第59号を学校給食課長より説明をお願いします。

※学校給食課長より説明

○小西委員長

ご質問はありませんでしょうか。

(質疑なし)

それでは、報告第59号を承認させていただきます。

○小西委員長

それでは、報告第56号、報告第57号、報告第58号及び議案第21号を、文化財課長より説明をお願いします。

※文化財課長より説明

○小西委員長

ご質問はございませんでしょうか。

2点だけお尋ねいたします。まず、土偶づくりは、粘土を使って、静山亭のお座敷で実施するのでしょうか。

○文化財課長

ブルーシートを敷いて、畳を汚さないように実施します。外でも実施していましたが、人数が少ないので、静山亭の座敷でブルーシートを敷いて実施します。粘土も少ない量で、たくさんの粘土を使うものではありません。

○小西委員長

議案第21号ですが、これまで74点が登録されていて、今回、12面を一括して登録し、1点増えるということですか、それとも、12点増えるということですか。

○文化財課長

枚数としては12点ですが、指定としましては、1点となります。

○小西委員長

指定は、75点となるのですか。

○文化財課長

ただ、これから審議会に諮問しまして、適当と答申をいただいて、教育委員会にお諮りしまして、指定となります。

○小西委員長

当時の面は、全て、阿か畔になっているのでしょうか。

○文化財課長

全てが、阿か畔になっているわけではありません。対になっていないものもあります。今回、諮問するものでも相方と言いますか、対となっていないものがあります。もしかししましたら、失われたかもしれません。

○中原委員

指定文化財に審議会で指定された場合に、どのような取り扱いになりますか。

○文化財課長

指定文化財になりますと、勝手に動かすことができなくなります。それから、いろんな改変をすることができなくなります。一つずつ、現状変更申請を出して、特に、

土地建物につきましては、修繕の際も全て届け出が必要となります。法律的な制限が加わります。市の指定文化財は都城市にあるということで、指定になりますが、もし、所有者が市外に持って出た場合は、指定を解除することになります。

○小西委員長

よろしいでしょうか。それでは、報告第56号、報告第57号、報告第58号を承認し、議案第21号を決定します。

○小西委員長

それでは、報告第60号、報告第61号、議案第22号を、図書館長より説明をお願いします。

※図書館長より説明

○小西委員長

ご質問はございませんか。

○島津委員

報告第61号の読書感想文コンクールの各賞及び賞品の項目で、学校賞の図書カードがあり、学校で図書を購入することになると思いますが、実際にはいくらの図書カードになりますか。要は、富松良夫賞創作詩コンクールの優秀賞との対比で、どの水準かと思ひまして。

○図書館長

今ここに、予算書がなく、明確にお答えできませんので、後ほどお知らせします。

○島津委員

学校で頑張っ、本が買えるインセンティブに多少なりとなればいいと思ひました。学校によって、応募に差があったように思ひますが、各学校長にも意識はあると思ひますが、なるべく多くの応募があるようにPRをお願いします。

○小西委員長

富松良夫賞創作詩コンクールについては、学校によって応募に差があります。ある中学校は全員応募になっています。図書館で応募作品をすべてコンピュータで打ち直して、無記名にさせていただいています。相当大変な作業をお願いします。そのため、顕彰委員会では、散文ではなく、原稿用紙2枚以内の詩ですから、学校で作品を選定していただいた方がよいのではと意見も出ました。しかし、校長先生からは、それは学校でやることではないと意見もありました。

○図書館長

読書感想文コンクールについては、学校で審査して、応募いただいています。

○島津委員

難しいことですが、富松良夫賞創作詩コンクールについては、応募が多い方がよいのですが、このように事務局の負担が大きく、事務局の方で捌けなくなるのであれば、氏名の部分を隠すとか省力化してもいいのではないのでしょうか。

○小西委員長

審査に原稿用紙からの先入観が入ることがありますので、富松良夫賞創作詩コンクールでは、最初の段階から打ち直してもらっていますので、応募数の割には、手間が掛かっています。応募数は600点位ですが、それが生の原稿であれば、それを読んだうえで、選考となると難しいと思います。現実的な意見になりますが、ある程度、応募作品が年々増えてきていますので、富松良夫賞創作詩コンクールの実績にはなっていると思います。

○図書館長

当初、21年度は86人の応募でしたが、23年度は、最高の728人の応募となりまして、審査委員の方も大変だと思っています。

○島津委員

一般の方の創作詩の応募数はどうですか。他の事と勘違いしているかもしれませんが、もう少し多くてもいいのではと思ったところです。

○図書館長

小中学校が、ほとんどで、23年度では、一般の部は38点でした。

○小西委員長

一般の部に関して言いますと、市内に比べて、曾於市や宮崎市が多いようでした。顕彰という意味では、とても意味があることだと思います。ただ、数が少ないということは、残念ですが。

○島津委員

学校関係は、学校会等で浸透しやすいと思いますが、一般向けで、県内及び曾於市でのPRを工夫してもらえれば、認知度も高まると思います。

○図書館長

PRについては、広報とホームページに掲載しています。

○教育長

新聞には、載せてもらえないのですか。

○小西委員長

記者クラブに原稿を出されていますが、それを記者の方が採用されるかによります。宮日新聞では、以前ですが、富松良夫についての記事も多かったようです。もう一度、掲載してもらえればと思っています。

○小西委員長

選考方法については、学校で一応選んでいただいた方がいいのでは、という意見を持っていたんですが、校長先生方は、子ども達のことを尊重すると、自分たちが選ぶとなると趣旨に反するといった意見をお持ちでした。何かいい方法があればと思います。

読書感想文コンクールの方は、各学校、何点ずつとなっていますか。

○教育長

各学年、3点選ぶようになっています。読書感想文コンクールは、課題図書を指定

していますので、おそらく学校がその中から選んでくることになるでしょう。全員になると多いので、学年3点を選ぶようになっていくと思います。

創作詩コンクールになりますと、学校で指導することにはならないので、直接審査をしてもらうのがいいのではと思います。創作詩コンクールの原稿は、パソコンで打つことになっているわけではないのでしょうか。手書きでもいいということですよ。

○小西委員長

ほとんどが手書きです。読みづらいこともあるし、文字の感じで評価が左右されて、公平性を欠くので、図書館の配慮で、打ち直してもらっています。最初は数が少なかったのが、応募数が600点になってくると大変だと思います。

○図書館長

今回、募集を開始したところ、学校から低学年には400字詰め原稿用紙ではマスが小さいので、大きなマスで提出したいという問い合わせもあったところです。

○小西委員長

図書館は、打ち直すことは大変でしょうか。

○図書館長

それは、審査される方の方が大変だと思いますが。

○小西委員長

無理ではないのですか。他の業務に差し支えるということはありませんか。

○図書館長

その時期は、大変だと思いますが。

○小西委員長

今年は、学校には学校での選考はしないと伝わっているのですか。

○島津委員

今年になって、急にスタイルを変えるのではなく、応募が増えたという数字を踏まえて検討をするということではいかがでしょうか。

○小西委員長

図書館協議会というのは、どのくらいの頻度で開かれるのでしょうか。

○図書館長

これまでは、事業計画案の協議を行っていただけてきました。今年は、新図書館の建設がありますので、5回ほどの開催を考えています。

○小西委員長

他にはありませんか。それでは、報告第60号、報告第61号承認し、議案第22号を決定します。

○小西委員長

議案第23号、議案第24号を美術館長より説明をお願いします。

※美術館長より説明

○島津委員

美術館協議会から美術館に意見があった場合は、美術館からその意見に対する報告は、次の協議会の際にされているのですか。

○美術館長

その際、報告しています。

○教育長

前回の協議会の引継ぎはどうなりますか。次の協議会で委員長は決めるのですか。

○美術館長

昨年までの佐々木委員長が退任されましたが、これまでの経験と歴年数から田中先生にお願いする予定です。

○教育長

切れ目なく、継続していただきたいので、昨年までの委員長に来ていただいて、報告いただくか、副委員長に報告をお願いしたいと思います。

○美術館長

委員のメンバーも半分以上残っていますし、田中先生は昨年は副委員長をされていたので、大丈夫だと思います。

○小西委員長

よろしいでしょうか。それでは、議案第23号、議案第24号を決定します。

○小西委員長

報告第46号、報告第47号及び議案第17号を教育総務課長より説明をお願いします。

※教育総務課長より説明

○島津委員

報告第47号の個々の団体から推薦をいただいた方については再度報告があるのでしょうか。

○教育総務課長

推薦をいただいた後に、報告いたします。

○島津委員

大体何時ぐらいになりますか。

○教育総務課長

この教育委員会で承認いただきましたら、すぐに団体に推薦の依頼をしたいと考えています。以前の教育委員会で、幅広く、いろんな団体から委員を集めたらどうかとご意見をいただきましたので、通常では選出した後でお諮りしますが、今回は、どの団体からということで、教育委員の先生方からご意見をいただいて、加える、変更するという事も考えています。

○小西委員長

名義後援についてですが、申請があつて、承認しないといったケースもありますか。

○教育総務課長

あります。今年は、1件です。

○小西委員長

目的や趣旨が違ったりする場合はですか。

○教育総務課長

1件は、全市ではなく、ある程度限定された地区であった場合で、趣旨を説明して、取り下げていただいています。

○小西委員長

他にありませんか。それでは、報告第46号、報告第47号を承認し、議案第17号を決定します。

○小西委員長

報告第51号、報告第52号、報告第53号、報告第54号、報告第55号、報告第62号、議案19号及び議案第20号を生涯学習課長より説明をお願いします。

※生涯学習課長より説明

○島津委員

人権啓発標語の昨年の学校別応募状況で学校の差があつて、0のところもあり、募集の目的からすると0というのは、いかがなものかなと思います。学校教育課と連携して取り組んでいただき、0の学校が無いようにお願いします。

○生涯学習課長

6月に開催されました幹事会でも指摘がありまして、7月の校長会で現状を申し上げて、協力をお願いしました。

○小西委員長

小中学生の応募数に比べて、一般の応募が極めて少ないように思います。一般へのPRはどうなっていますか。

○生涯学習課長

募集要項は小学生向けと一般向けがありますが、各総合支所に設置したりや各団体等へ案内を差し上げていますが、なかなか一般の方については、周知ができずに、いい方法があればと思っているところです。ただ、広報での周知だけでは難しいとは思っています。

○小西委員長

応募数の35というのは例年に比べてどうですか。

○生涯学習課長

例年、4、50程度の応募状況です。幹事会でも指摘がありまして、子どもも大事だが、大人、保護者の意識を改革することも大事だといった意見もありました。家庭教育学級が、小中学校、幼稚園、保育園に64学級開設されており、その中で10講座が開催されていますが、必ず人権啓発の講座を設けて、講師を呼んで、意識開発をしていただいています。しかし、標語に関しては進んでいません。

○小西委員長

一般の方は、一度入賞すると外されるということはないですか。

○教育総務課長

一般の方は、毎年応募される方がいらっしゃるのですが、数が少ないと一昨年度も入賞された方がいらっしゃったので、昨年は、人権啓発の方の各会社も賛同して参加するという形をとっていますので、大きな会社にダイレクトメールを送ってPRをしました。昨年の35件は若干増えたところです。

○生涯学習課長

推進委員会の会員が189団体ありますので、こういったところにも案内を差し上げているところです。

○小西委員長

それでは、報告第51号、報告第52号、報告第53号、報告第54号、報告第55号、報告第62号を承認し、議案19号及び議案第20号を決定します。

○小西委員長

報告第48号、報告第49号、報告第50号、報告第63号及び議案第25号、議案第26号を学校教育課長より説明をお願いします。

※学校教育課長より説明

○島津委員

遠距離通学の補助を受けている児童生徒は何名いらっしゃるのですか。

○学校教育課長

25年度の実績では、小学校で7校、22名、中学校が6校、42名です。

○島津委員

学校運営協議会の委員が、東小学校はメンバーがほとんど入れ替わっていますが、毎年、入れ替わるのではなくて、何年間かやっていただいて、ある程度安定して、学校に対する理解を深めていただき、数人ずつが年度を違えて替わった方が良いのではないかと思います。

○学校教育課長

東小は、昨年は妻ヶ丘中と東小、上長飯小の3校で合同でやっていました。議会でも質問が出まして、合同では周りから見えにくいと意見があり、今年度は単独で委員をお願いし、そこがさらに充実してくれば、中学校区での組織も編成することも考えています。

なお、15日に開催された学校運営協議会推進委員会で、委員長に河原先生、副委員長に満丸先生が選出されましたので報告します。

○小西委員長

それでは、報告第48号、報告第49号、報告第50号、報告第63号を承認し、議案第25号、議案第26号を決定します。

○図書館長

先程、お尋ねのあった件ですが、小学生読書感想文コンクールの学校賞は最優秀校

が2万円の図書カード、優秀校が2校の1万5千円、優良校が1万円で、個人賞は最優秀賞が6千円、金賞が5千円、銀賞が4千円、銅賞が3千円、佳作が2千円です。

12 その他

○報告事項

教育総務課より、教育委員会への市長の指示事項についての報告あり

○8月定例教育委員会日程について

日程 平成26年8月7日（木）9：30から

会場 委員会室

○9月定例教育委員会日程について

日程 平成26年8月21日（木）13：30から

会場 委員会室

以上で、7月の定例教育委員会を終了いたします。